

平成 25 年度 6 月議会の補正予算について

I 6 月補正予算の概要

1 補正予算の特徴

今回の補正予算では、平成 25 年度の一般会計当初予算を人件費、公債費等の義務的経費や施設管理費等の経常的経費、債務負担行為などの継続事業を中心とした「骨格予算」として編成したことから、その骨格予算に対する「肉付け予算」として、“新・桑名市 7 つのビジョン”に沿った事業をはじめ政策的な事業に要する経費を追加したほか、当初予算編成後に生じた事情を踏まえた所要の予算措置を行いました。

当初予算は、骨格予算ではあるものの、新病院整備や市役所本庁舎耐震補強などの事業費を計上するなどしたため、前年度当初予算対比で 1.0 %の減であったところ、今回の補正予算により投資的経費 22 億 2,200 万円を含む総額 28 億 4,564 万円を増額したことで、補正後の予算総額は、前年度当初予算対比 5.4 %増の 469 億 8,507 万円となりました。これは、合併（平成 16 年 12 月）後の当初予算としては、平成 19 年度の 475 億 8,676 万円に次いで 2 番目に大きい額です。

一般会計補正予算の財源には、国県支出金 10 億 80 万円のほか、市債を 10 億 4,120 万円計上し、また、財政調整基金から 7 億 2,002 万円を繰り入れて収支の均衡を図りました。

特別会計、企業会計の当初予算は通常予算として編成しており、今回の補正では、事業の追加に伴う所要の予算措置を行いました。

2 補正予算の規模

各会計の補正額は、次のとおりです。 ※補正のある会計のみ表示

	補正額	(補正後額)
一般会計	28 億 4,564 万円	(469 億 8,507 万円)
特別会計	1 億 6,067 万円	(256 億 4,018 万円)
農業集落排水事業特別会計	2,710 万円	(1 億 6,974 万円)
地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計	1 億 3,357 万円	(15 億 6,605 万円)
企業会計	6,328 万円	(96 億 8,704 万円)
水道事業会計	6,328 万円	(36 億 3,614 万円)
総計	30 億 6,959 万円	(823 億 1,229 万円)

3 一般会計補正予算の主な事業

1 全員参加型の市政に

- 1 総合計画策定事業 <総務費> 【新規】 1,050 万円
・桑名市のまちづくりを総合的に進めるため、総合計画の基本構想、基本計画の策定を行う。
・市民参加により意見を幅広く計画に反映させる。

2 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

- 1 財政状況パンフレット作成 <総務費> 【新規】 56 万円
・市の財政状況について分かりやすく解説したパンフレットを作成し、市民の皆さんと情報の共有を図る。
- 2 道路ストック対策事業 <土木費> 【継続】 1,100 万円
・笹子トンネルの事故を踏まえ、今後の老朽化に備え社会資本の計画的かつ戦略的な維持管理を図るため、道路施設の総点検を実施する。
- 3 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 <土木費> 【継続】 1,339 万円
・従来的事後的な維持管理から予防的な修繕及び計画的な架け替えを実施するため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、長寿命化並びに維持管理費用の縮減を図る。

3 命を守ることが最優先

- 1 新病院整備事業 <衛生費> 【拡充】 3,080 万円
・新病院整備事業の整備計画の見直しに伴い、建設工事費などの増額に係る分を地方独立行政法人桑名市総合医療センターに出資する。
- 2 応急診療所改修事業 <衛生費> 【新規】 2,800 万円
・インフルエンザ等が流行し、パンデミック時の対応を可能とするためにも、現在の診療室を1室から2室へ変更する。
- 3 子どもを虐待から守る都市宣言の周知 <民生費> 【拡充】 68 万円
・「子どもを虐待から守る都市宣言」が成立した後、これを市民、関係者、職員等への周知するため、懸垂幕の掲揚、啓発用ティッシュ及び啓発用リーフレットの配布や講演会を開催する。
- 4 防災意識啓発事業 <消防費> 【新規】 240 万円
・昨年各世帯に配布した桑名市避難マップを避難経路や避難場所などの書き込みができる大きなサイズで作成し、小中学校での防災教育や自治会等での研修会などで防災意識の向上を図る。
- 5 学校防災・防災教育推進事業 <教育費> 【新規】 273 万円
・学校における防災教育の充実を図るため、緊急地震速報受信機を用いた消防署等との連携による避難訓練や学校防災アドバイザーを活用した合同学習会などを開催する。

4 こどもを3人育てられるまち

- 1 多子世帯の中学生通院医療費助成 <民生費> 【拡充】 1,100 万円
・児童を養育する保護者を支援するため、中学生の入院医療費に加えて、9月診療分から、子ども3人以上の世帯に限定して中学生の通院医療費を助成。

- 2 子ども・子育て支援事業計画策定事業 <教育費> 【新規】 817 万円
 - ・子ども・子育て関連3法に基づく新制度の円滑な施行のため、子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、子育て家庭の状況や需要を的確に把握するための調査などを実施する。
- 3 学校図書館司書配置事業 <教育費> 【拡充】 300 万円
 - ・学校図書館を活用した教育活動や読書活動の活性化を図るため、新たに図書館司書による小中学校での巡回指導を行う。

5 世界に向けて開かれたまち

- 1 外国人児童生徒教育推進事業 <教育費> 【拡充】 145 万円
 - ・就学年齢にある外国人の子どもに対する就学促進及び入学・編入前後の初期対応指導・日本語指導を実施し、学校・地域での外国人児童生徒の受入体制の整備を行う。

6 地理的優位性を活かした元気なまち

- 1 多度大社・多度峡周辺の整備事業 <商工費> 【継続】 1,140 万円
 - ・引き続き多度大社と多度駅を結ぶ旧街道の街路灯を整備する。
- 2 桑名北部東員線 <土木費> 【新規】 7,250 万円
 - ・工業団地を整備する多度力尾土地地区画整理事業にあわせて、事業区域内の路線である桑名北部東員線を整備し、アクセス向上を図る。

7 桑名をまちごと「ブランド」に

- 1 スマートフォン観光アプリの開発 <商工費> 【新規】 300 万円
 - ・観光地情報の提供や、スタンプラリーなどのイベントに対応する機能を持ったスマートフォン用の観光アプリを開発し、観光客の誘客を図る。
- 2 『志るべ石－桑名史跡めぐり－』の改訂 <教育費> 【新規】 121 万円
 - ・刊行から20年以上が経過した歴史ガイドブック「志るべ石」の改訂作業に取り掛かる。

その他（基盤整備）

- 1 蛸塚益生線 <土木費> 【継続】 3億6,696 万円
 - ・舗装工事などを行い、桑名駅西地区へのアクセス整備を推進する。
- 2 江場安永線 <土木費> 【継続】 2億2,709 万円
 - ・国道23号との交差点改良工事等を行い、事業の進捗を図る。
- 3 総合運動公園 <土木費> 【継続】 1億7,885 万円
 - ・サッカーグラウンドの暫定供用に向けて整備を進める。
- 4 桑名駅西土地地区画整備事業 <土木費> 【継続】 6億2,144 万円
 - ・暫定駅前広場の整備工事や建物移転補償などを実施し、事業の進捗を図る。